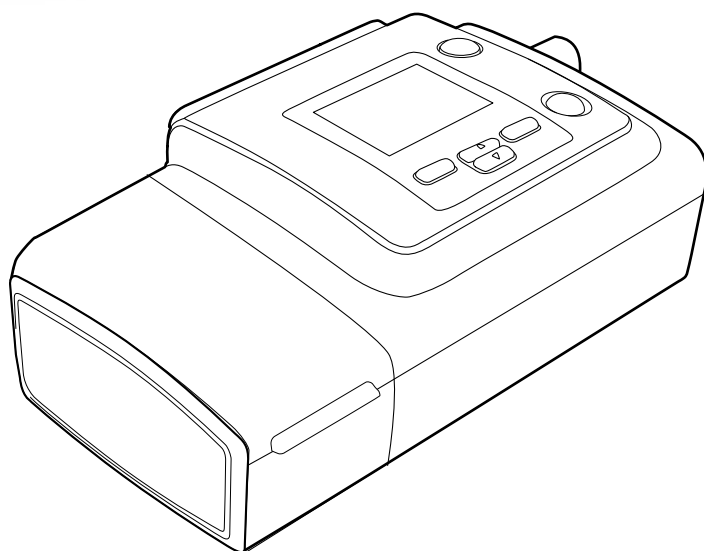


PHILIPS

人工呼吸器



バイパップ

エー

BiPAP A40システム シルバーシリーズの使い方

※本書は添付文書や取扱説明書にかわるものではありません。
必ず製品に付属の添付文書および取扱説明書をご覧ください。

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。お問合せの際は、**お名前・ご利用の機器名・かかりつけの医療機関・取扱業者名**などを必ずお伝えください。

平日 9:00～17:30の受付

地域営業所・出張所・駐在

夜間・土日休日の受付

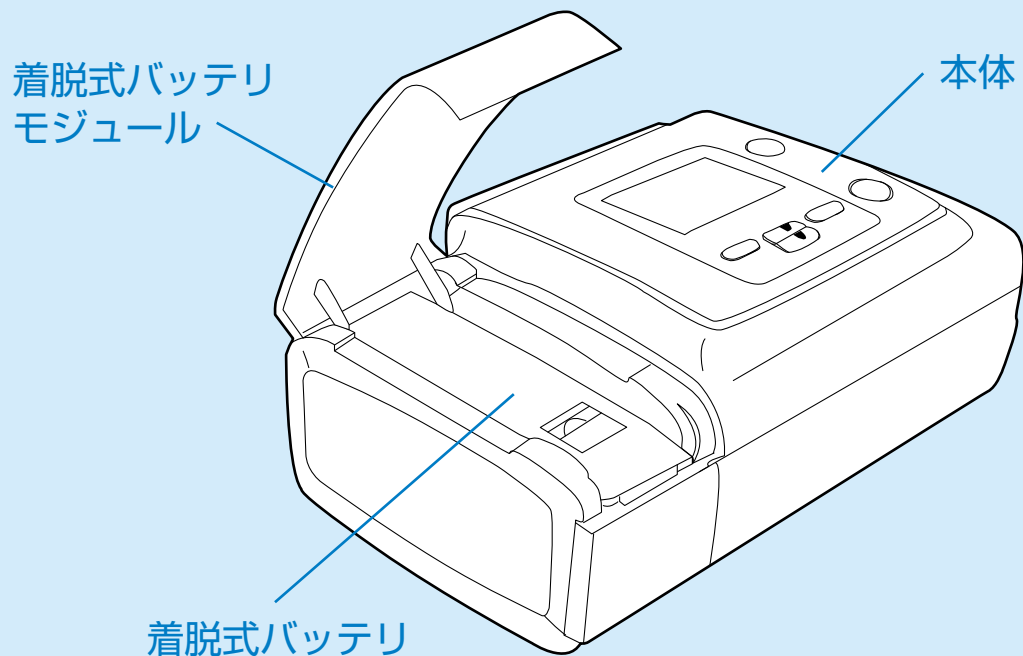
(平日17:30～翌 9:00、土・日曜日と祝祭日)

機器安全センター

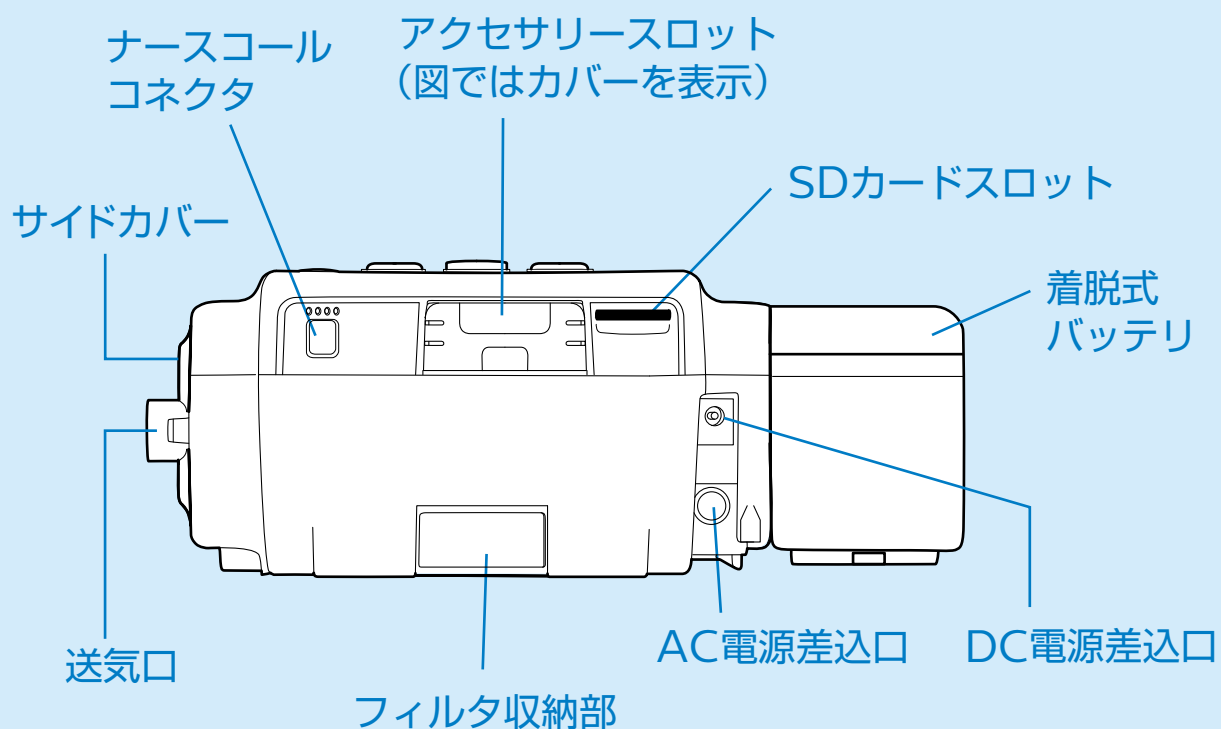
フリーダイヤル **0120-633-881**

機器の外観・名称

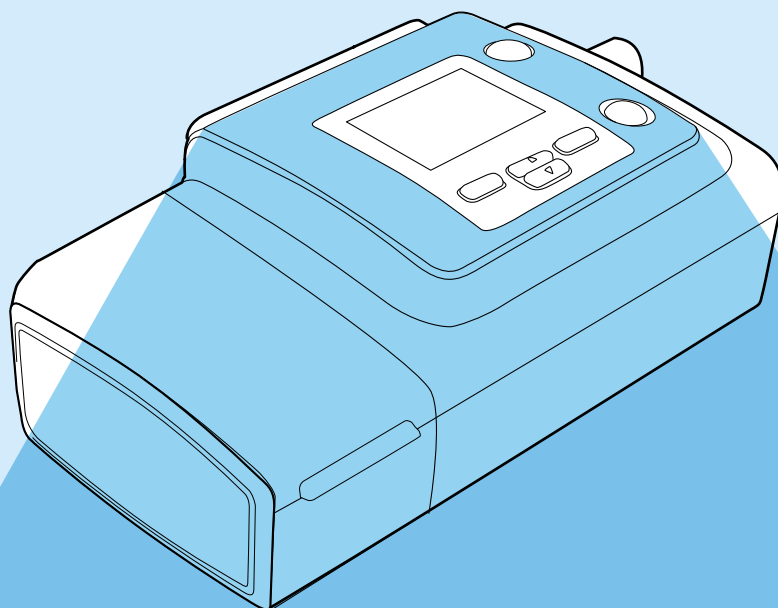
機器前面



機器背面



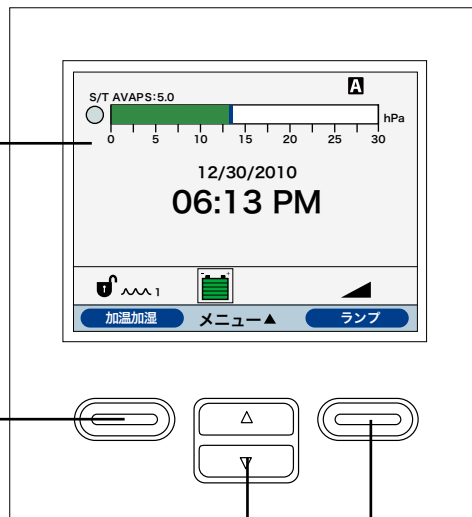
表示部・操作部の名称



ディスプレイ
画面

左ボタン

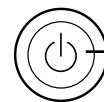
アップ／ダウンボタン



右ボタン

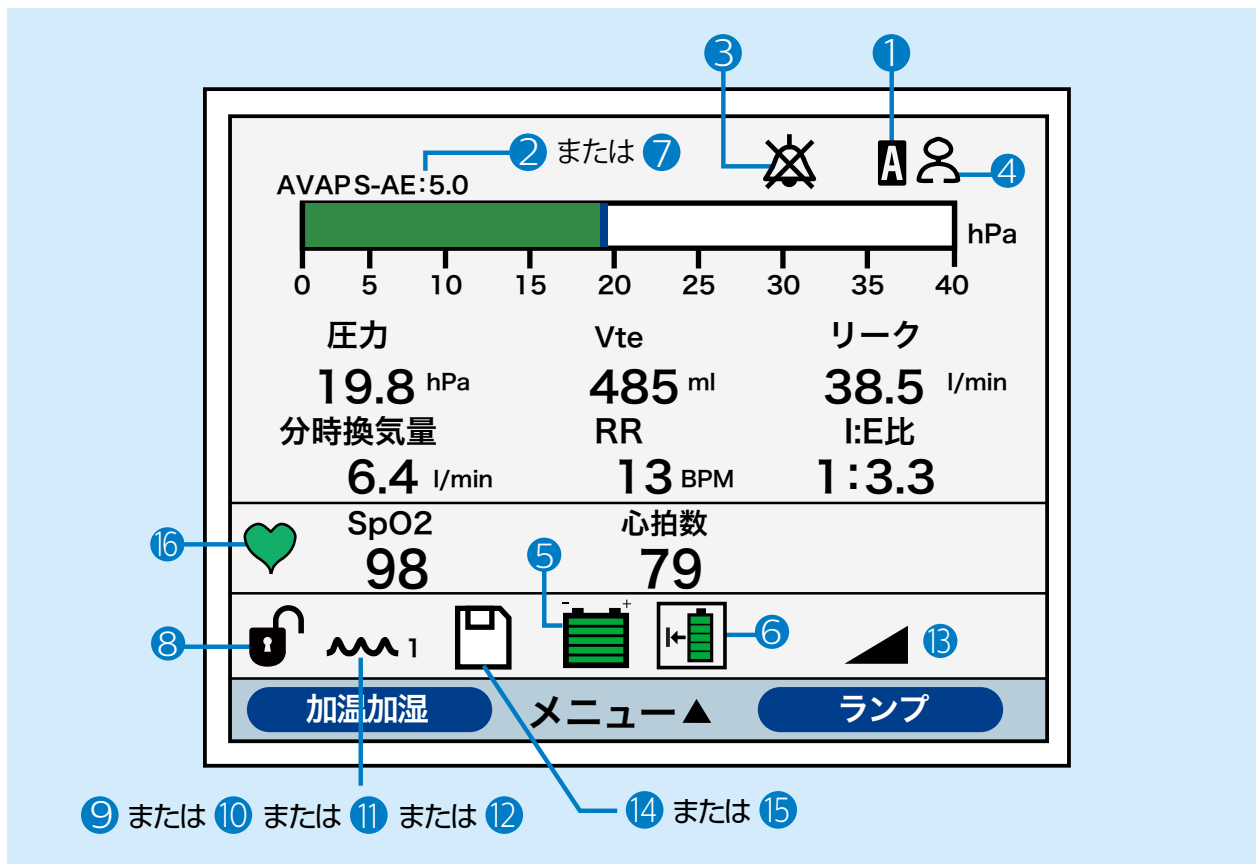


アラーム消音/
インジケータボタン



スタート/
ストップボタン

ディスプレイアイコン

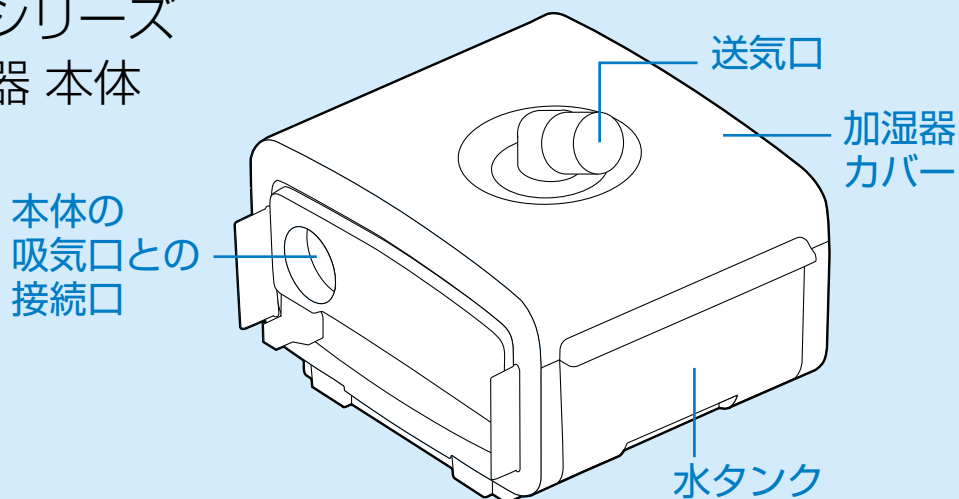


画面表示	項目内容
1	無呼吸アラーム有効時に点灯
2 AVAPS:1	AVAPSが有効でAVAPS Rateの設定 (例えば、1であれば1.0hpa/min)
3	アラーム消音が作動中
4	回路外れアラームが有効
5	外部バッテリーがフル充電されていて使用中
6	着脱式バッテリーが装着されている
7 FLEX:1	FLEXが有効でFLEXの設定 (1であれば、設定値が1)
8	最大(フル)メニューアクセスモード(医療従事者モード)
9	加温加湿器が接続されていて加温加湿器の設定 (1であれば、設定値が1)
10	加温加湿器の状態が不良(記号が点滅して表示)
11	ヒートッドチューブが接続されていてヒートッドチューブの温度設定 (例えば、1)
12	ヒートッドチューブの状態が不良(記号が点滅表示)
13	ランプ
14	SDカードが挿入されている
15	SDカードエラー(不良なSDカードが挿入されている)
16	オキシメトリモジュール(オプション) 使用中

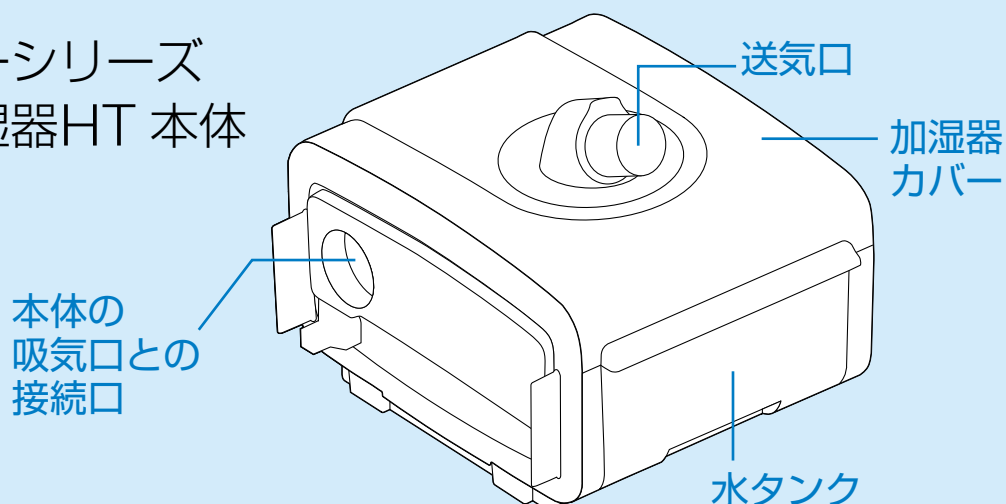
加温加湿器／各部の名称

※加温加湿器はオプションとなります。

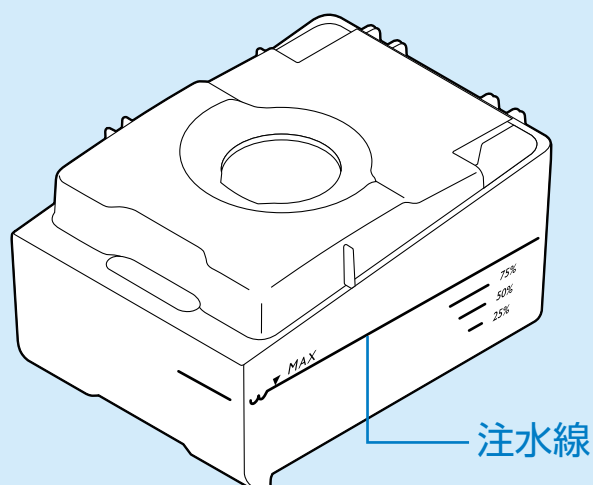
シルバーシリーズ
加温加湿器 本体



シルバーシリーズ
加温加湿器HT 本体

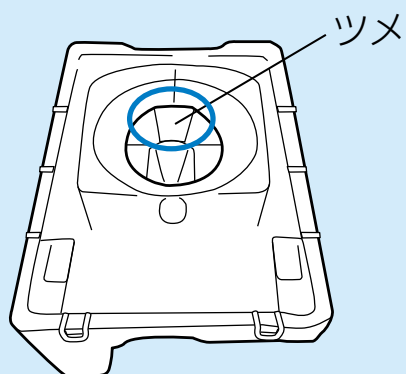
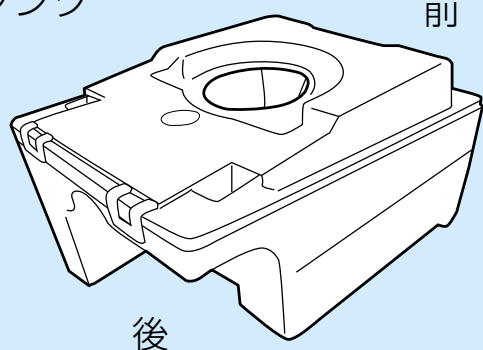


水タンク

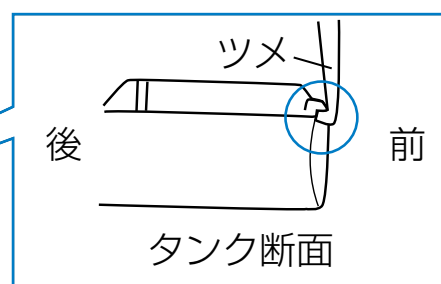
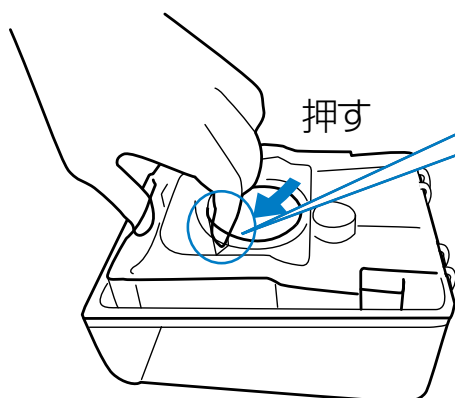


加湿器水タンクのフタの開け閉め

水タンク

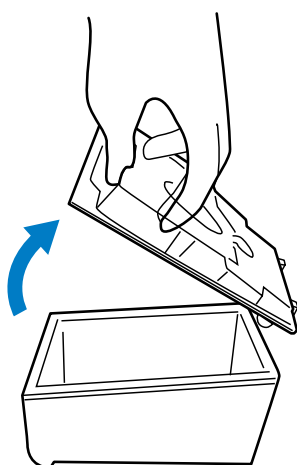


1



水タンク内にあるツメを
指で押して外します。

2



フタが外れます。

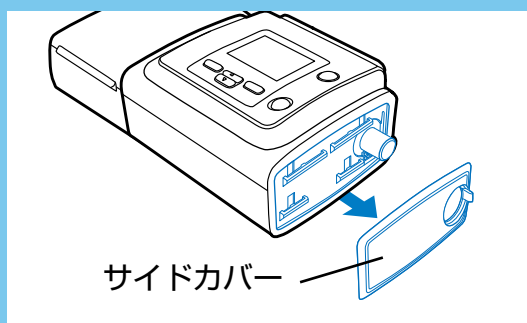
3



フタの後ろにある穴に合わせて
タンクのフタを閉めます。

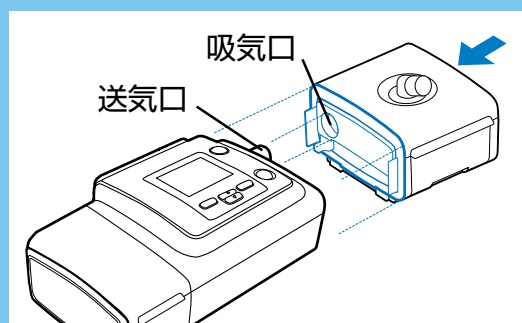
シルバーシリーズ加温加湿器の 取り付け・給水

1



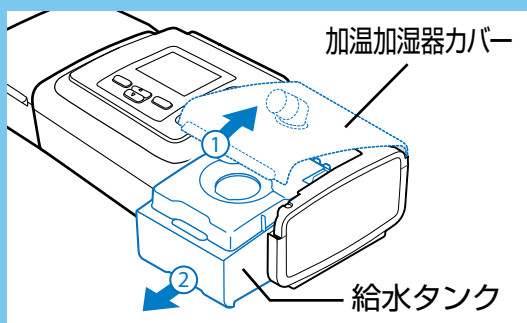
機器本体に加温加湿器を装着します。機器本体の側面にあるサイドカバーをはずします。

2



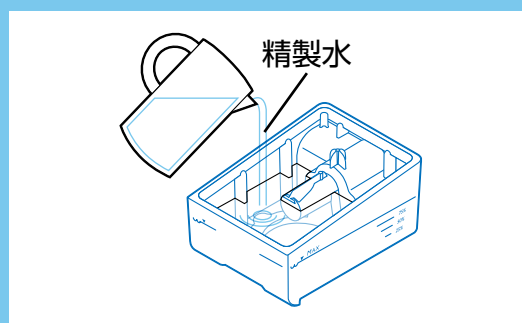
機器本体の送気口と加温加湿器の吸気口が重なるように並べ、カチッと音がするまで押し合わせます。

3



加温加湿器のカバーを図の様に上げ、水タンクを引き出します。

4

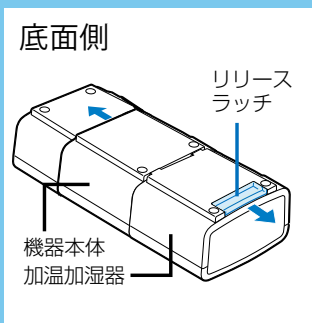


水タンクのフタを外してから精製水(蒸留水)を給水し加温加湿器にセットします。

※ 回路の接続は「呼吸回路の構成(2)」のシルバーシリーズ加温加湿器のページをご覧ください。

加温加湿器を取り外す際は…

機器本体から加温加湿器を取り外す時は加温加湿器底面にあるリリースラッチを外側に引きながら取り外します。

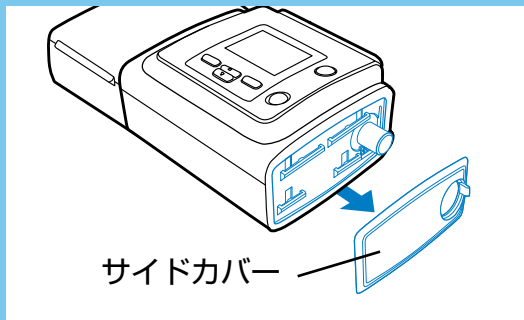


⚠️ ご注意ください

- ・加温加湿器の水タンクには、必ず精製水(蒸留水)を使用してください。
- ・使用する前に必ず水タンクの水量を確認してください。
- ・水タンクは毎日洗浄し、使用してください。

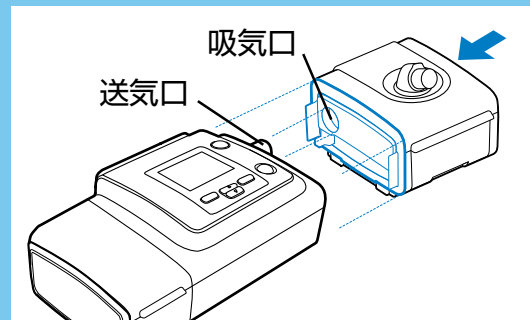
シルバーシリーズ加温加湿器HTの 取り付け・給水

1



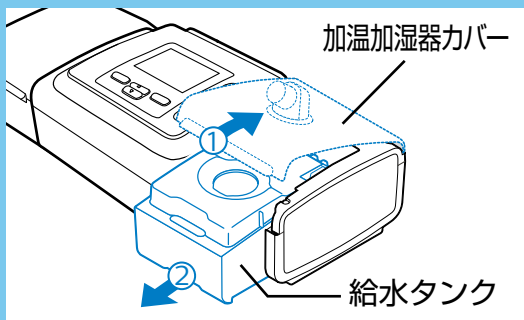
機器本体に加温加湿器を装着します。機器本体の側面にあるサイドカバーをはずします。

2



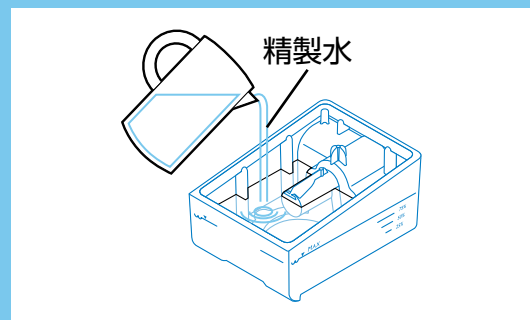
機器本体の送気口と加温加湿器の吸気口が重なるように並べ、カチッと音がするまで押し合わせます。

3



加温加湿器のカバーを図の様に上げ、水タンクを引き出します。

4

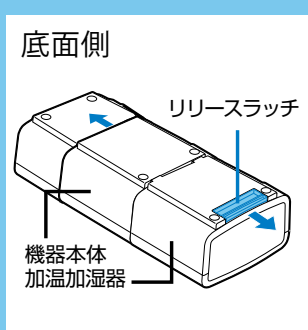


水タンクのフタを外してから精製水(蒸留水)を給水し加温加湿器にセットします。

※ 回路の接続は「呼吸回路の構成(3)」のシルバーシリーズ加温加湿器 HT のページをご覧ください。

加温加湿器を取り外す際は…

機器本体から加温加湿器を取り外す時は加温加湿器底面にあるリリースラッチを外側に引きながら取り外します。

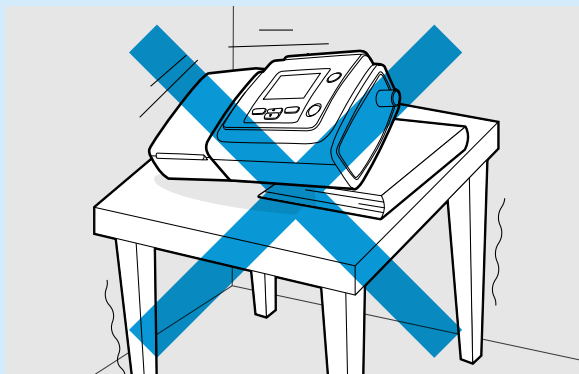


⚠️ ご注意ください

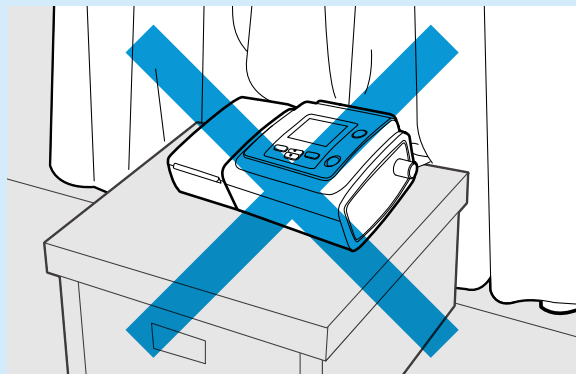
- ・加温加湿器の水タンクには、必ず精製水(蒸留水)を使用してください。
- ・使用する前に必ず水タンクの水量を確認してください。
- ・水タンクは毎日洗浄し、使用してください。

機器の準備

機器の設置



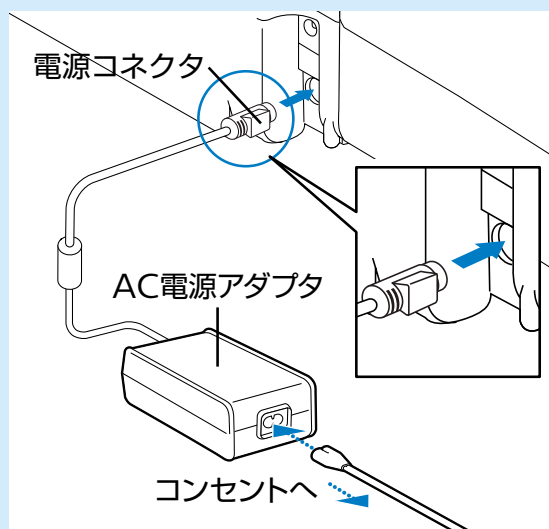
機器をしっかりとした平らな台などに置きます。直射日光が当たらない場所に設置してください。



フィルタ収納部(吸気口)がカーテンなどでふさがれていないことを確認してください。

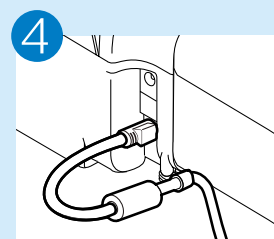
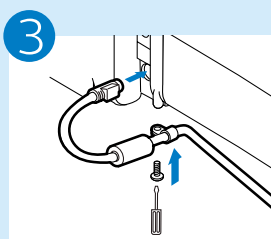
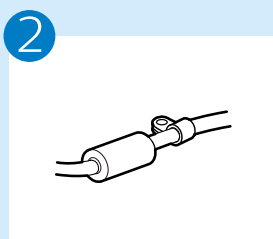
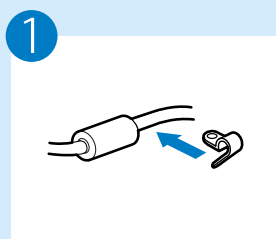
AC電源コード／ AC電源アダプタの接続

右図のようにAC電源コードを取り付け、電源入力口にしっかりと差し込みます。電源プラグは抜けないようにコンセントにしっかりと奥まで差し込みます。コンセントからAC電源コードが接続されると自動で電源がONになります。スタート/ストップボタンのLED  が点灯します。



AC電源コードを外れにくくするために…

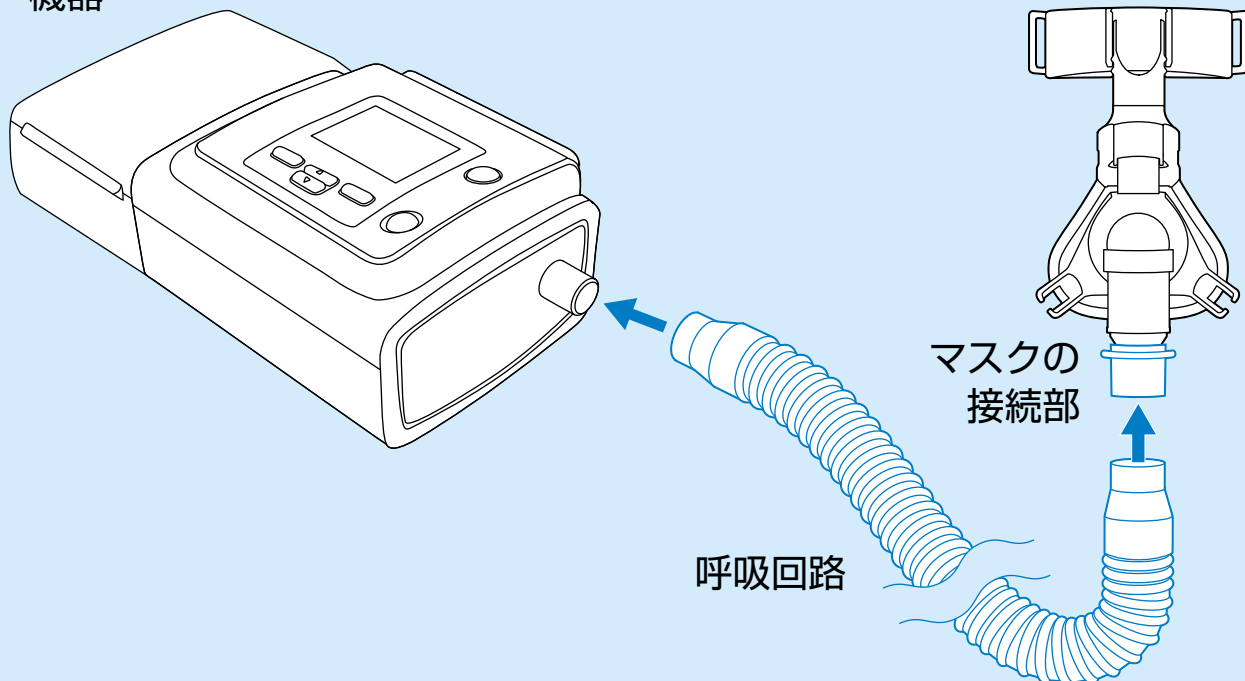
準備が終わりましたら以下の手順でAC電源コードを固定してください。留め具にセットすることにより、AC電源コードが外れにくくなります。



呼吸回路の接続

機器の送気口に呼吸回路の一方を接続します。
反対側のもう一方にマスクを接続します。

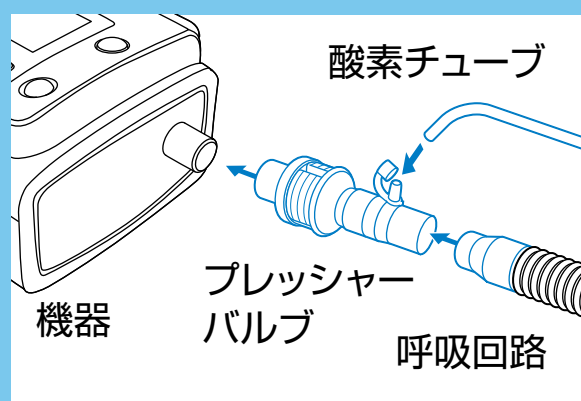
機器



※目的にあった呼吸回路を使用してください。

酸素供給装置(酸素濃縮装置・酸素ポンプ)を併用する場合

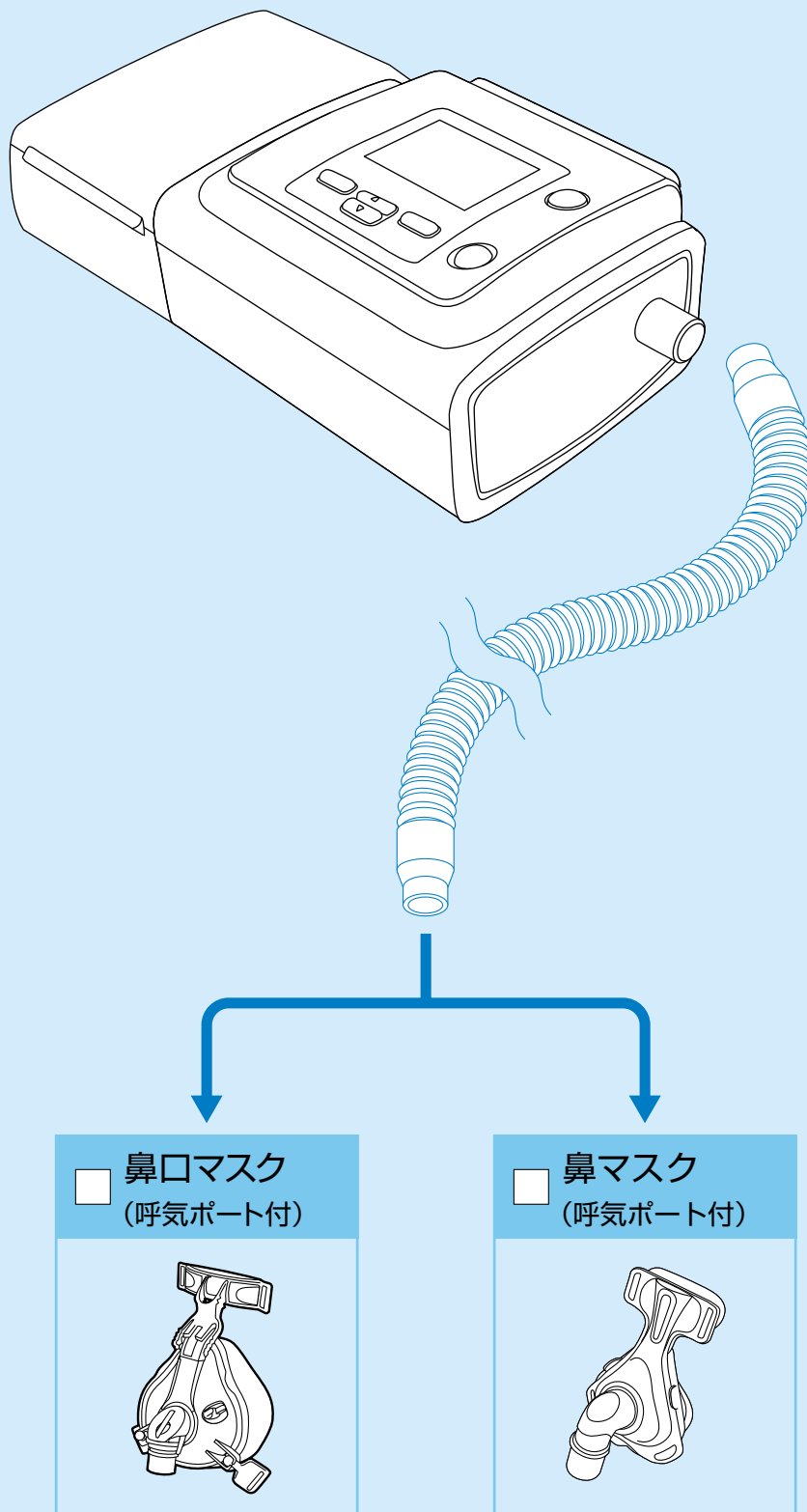
機器送気口へプレッシャーバルブ、呼吸回路を直列に取り付けます。
プレッシャーバルブの接続口に酸素チューブを接続し、酸素供給装置のスイッチをONにします。



※マスクは種類により、装着方法が異なります。詳しくはマスクの取り扱い説明書を確認してください。

呼吸回路の構成 (1)

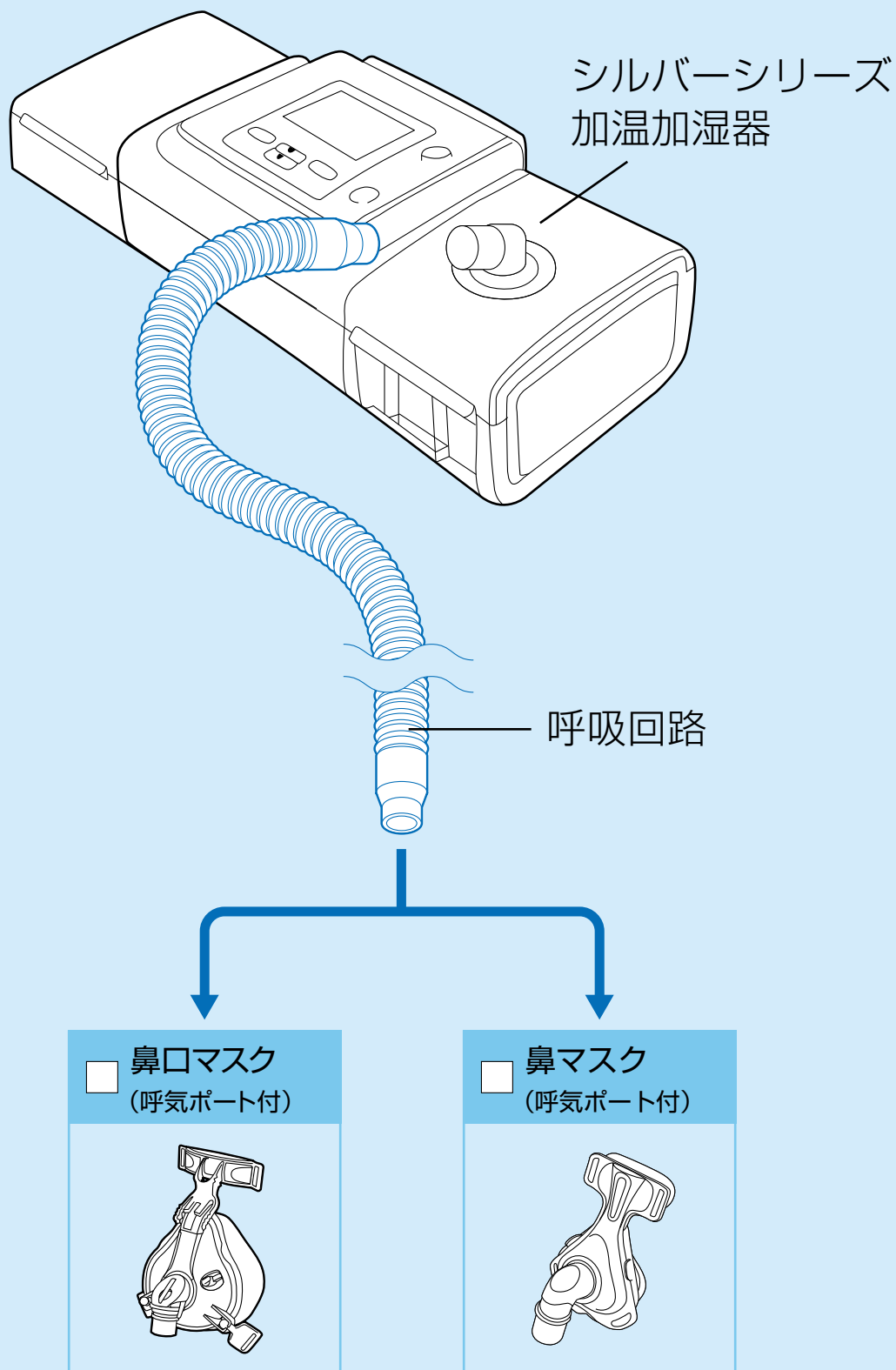
機器からマスクへの接続



※マスクは種類により、装着方法が異なります。詳しくはマスクの取り扱い説明書を確認してください。

呼吸回路の構成 (2)

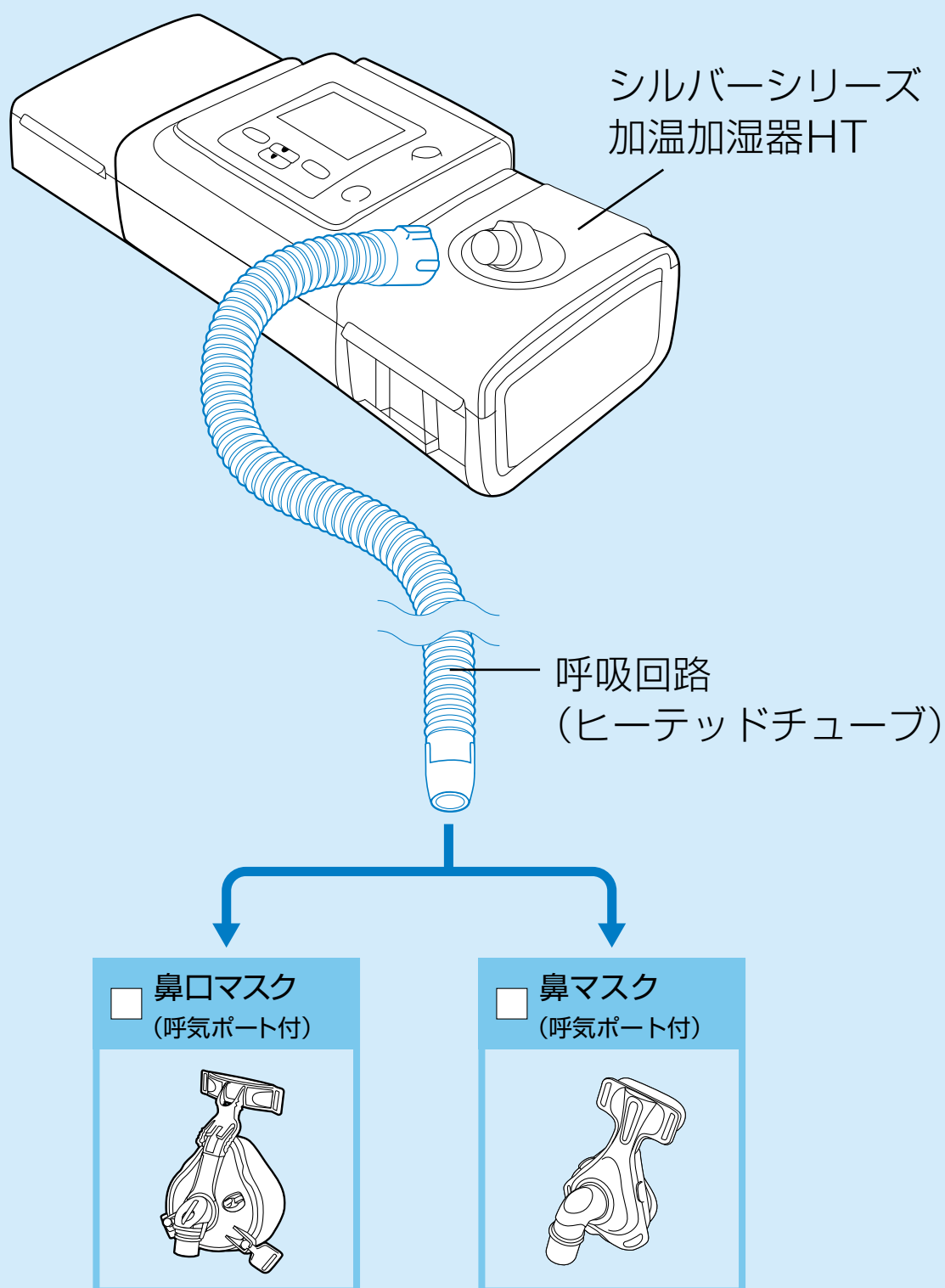
シルバーシリーズ 加温加湿器からマスクへの接続



※マスクは種類により、装着方法が異なります。詳しくはマスクの取り扱い説明書を確認してください。

呼吸回路の構成(3)

シルバーシリーズ加温加湿器HTからマスクへの接続



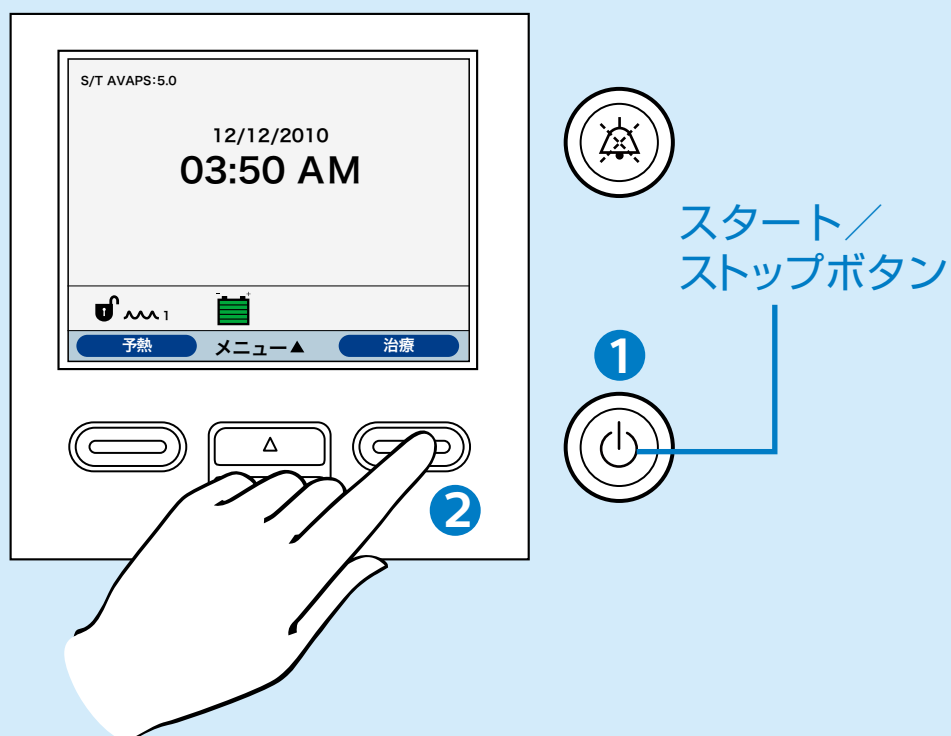
※マスクは種類により、装着方法が異なります。詳しくはマスクの取り扱い説明書を確認してください。

※ヒーテッドチューブは必ず適合する加温加湿器の送気口に接続し、治療装置の送気口には接続しないでください。

送気の開始

以下の手順で送気開始を行います。

治療の開始

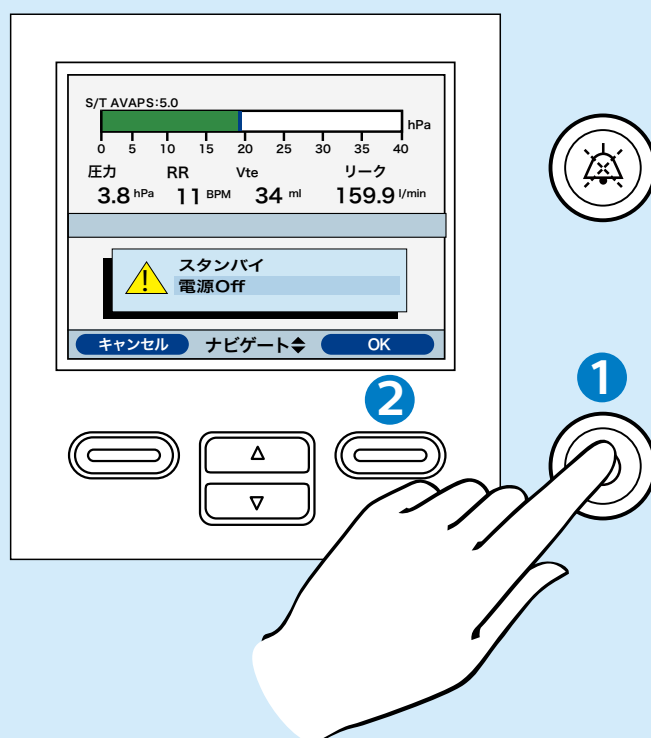


スタート/ストップボタンを押してください。装置のセルフチェック後、図のような表示になります。右ボタン（治療）を選択すると機器が作動を開始します。

送気の停止

以下の手順で送気停止を行います。

治療の停止

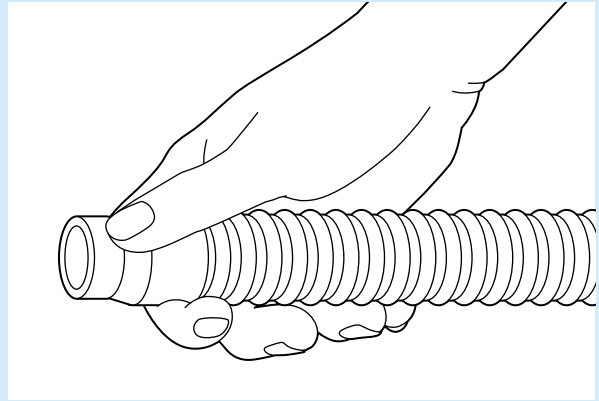


スタート/ストップボタンを押し、右ボタン（OK）を押すと装置を停止させることができます。一時的に治療を中断させたい場合は、「スタンバイ」を選択し、治療を終了させたい場合は、「電源 Off」を選択後、右ボタン（OK）を押してください。

安心してお使いいただくために

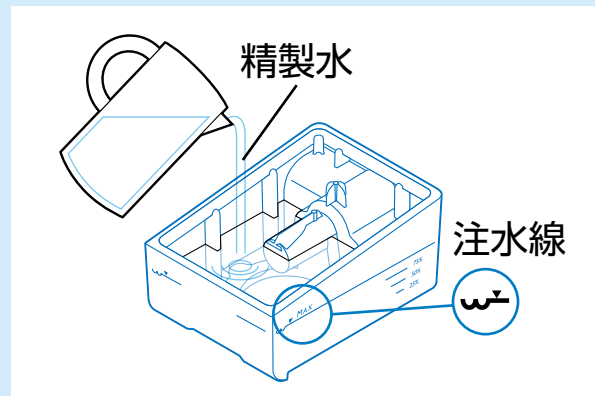
回路の抜き差しは必ず、先の部分を持って行います

回路やその他の箇所の破損による
空気の漏れなどのトラブルの原因
になります。



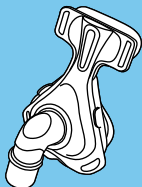
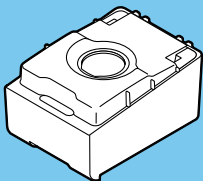
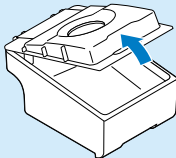
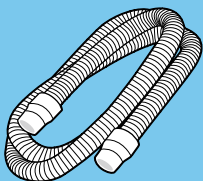
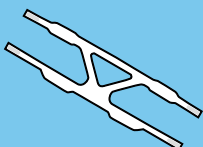
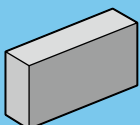
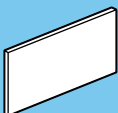
加温加湿水タンクの水位に注意してください

水タンクは定期的に十分に水が
入っていることを確認します。
水は水タンクの注水線より多く
入れないでください。



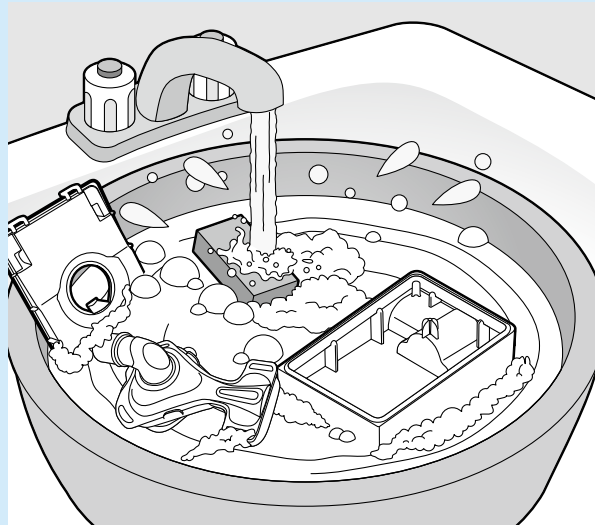
お手入れ

機器および付属品はそれぞれお手入れの方法やその周期が異なります。
安全・快適にお使いいただくために、以下のお手入れを行ってください。

頻 度	種 類	お手入れ方法
毎 日	 マスク	各部品を分解し中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗淨します。よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	 水タンク	上下パーツに分解し中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗淨します。よくすすぎ、乾いた布などで水気を拭き取り陰干しします。 
	 呼吸回路	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗淨します。よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
1週間	 ヘッドギア	マスクからはずして中性洗剤をうすめたぬるま湯でもみ洗いします。洗たく機を使用する際は洗たく用ネットに入れます。
2週間	 エアフィルタ (リユーザブル)	フィルタは必ず乾いている物をお使いください。使用後のフィルタは中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗淨し、陰干ししてください。
1ヶ月	 エアフィルタ (ディスポーザブル)	一ヶ月でエアフィルタを交換します。 使い捨てですので新しい物をお使いください。 ※オプションです。

お手入れの方法

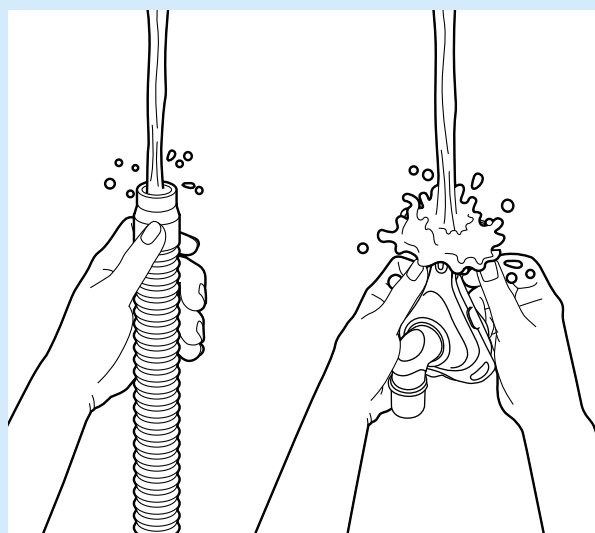
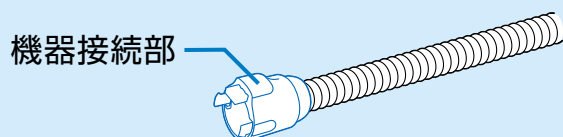
- 1 呼吸回路の部品を、中性洗剤をうすめたぬるま湯で洗浄します。



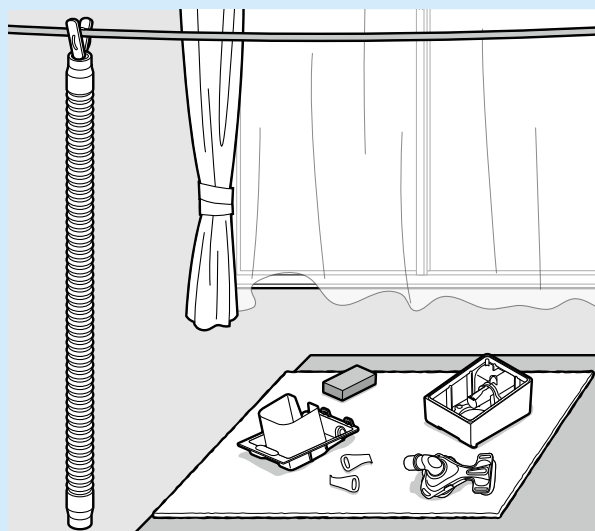
- 2 洗剤を流水で十分に洗い流します。

ヒートッドチューブを洗浄する際は…

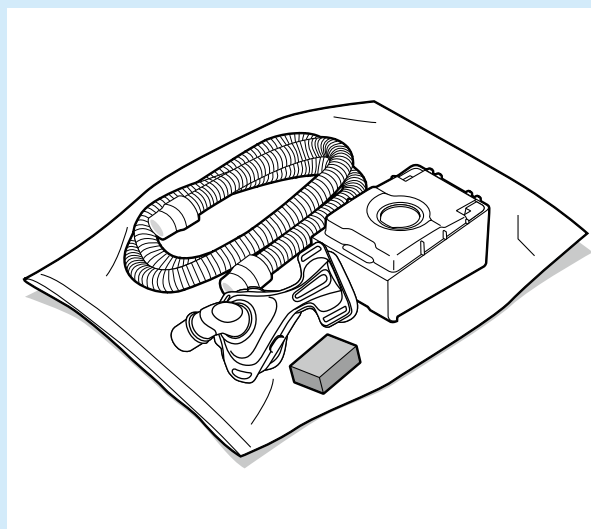
ヒートッドチューブの**機器接続部**を**水にひたさないよう注意**し、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。



- 3 風通しのよいところで陰干しします。
回路類は吊り下げて、その他備品はタオルなどの上に置いておくと良いでしょう。

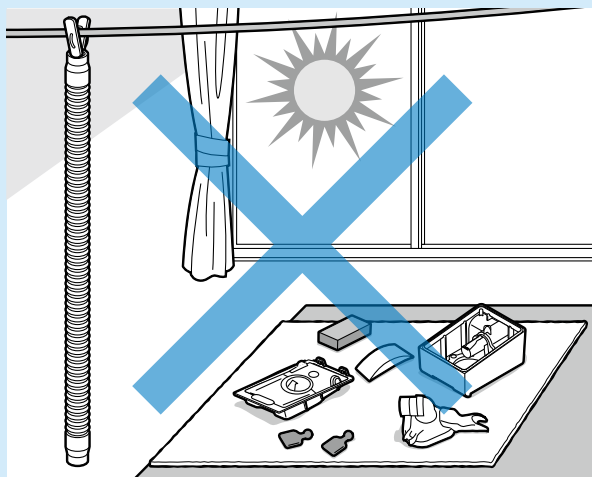


- ④ 乾燥後はほこりがつかないように、袋などに入れて保管します。

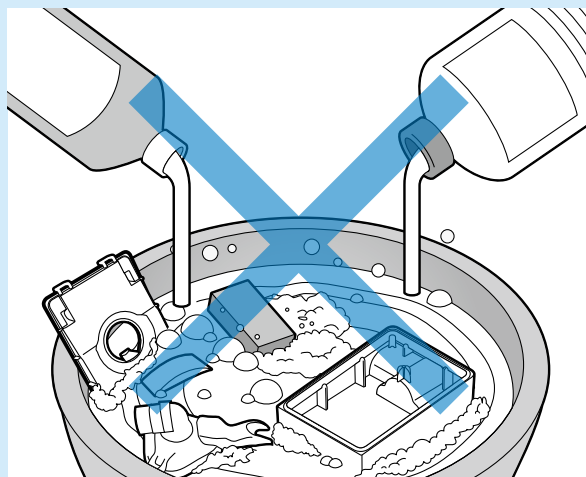


⚠ 次の方法でのお手入れはおやめください

日当たりの良い所で干さないでください。



ベンジン、アルコール、塩素系洗剤などで洗わないでください。



アラーム対応表(1)

アラーム発生時は、以下の表を参考に対処してください。

アラーム内容と画面表示	レベル	アラーム音	対 処
電源消失 (画面表示なし)	高	ピー ピー	・ AC 電源を使用している場合には、別の AC 電源に装置を接続します。これで電源が戻らない場合は、外部バッテリーを装置に接続して DC 電源に切り替えます。それでも電源が供給されない場合は、別の呼吸器を患者に接続した後、弊社営業所にご連絡ください。
人工呼吸器作動停止	高	ピー	・ スタート / ストップボタンを押します。表示が作動している場合は、電源 Off 確認画面が表示されます。右ボタンを押して装置を停止させ、可聴アラームを止めます。直ちに患者から本装置を取り外し、別の呼吸器を接続してください。弊社営業所に連絡し、修理の依頼をしてください。
呼吸回数上限	高	ピピピッピピッ	・ アラームが続く場合は、医療従事者にご連絡ください。
分時換気量下限	高	ピピピッピピッ	・ アラームが続く場合は、医療従事者にご連絡ください。
一回換気量下限	高	ピピピッピピッ	・ アラームが続く場合は、医療従事者にご連絡ください。
回路外れ	高	ピピピッピピッ	・ 回路を接続し直すか、リークを修正します。アラームが続く場合は、医療従事者にご連絡ください。装置が回路外れを解除できない場合は、別の呼吸器に接続してください。
無呼吸	高	ピピピッピピッ	・ このアラームが発生した場合は、医療従事者に報告してください。
バッテリー電圧低下 (バッテリー使用時)	中 高 「中」レベル から「高」 レベルに 移行します。	ピピピッ ピピピッピピッ	・ 電圧が低下しているバッテリーを充電している間は、代替バッテリーまたはAC電源に切り替えてください。電圧が低下しているバッテリーを充電してもアラームが続く場合は、バッテリーを交換してください。
AC電源外れ (バッテリー使用時)	中	ピピピッ	・ AC 電源アダプタを点検し、外れている場合は再接続します。装置が過負荷になっている AC 回路に接続されていないことを確認してください。
バッテリーで起動	情報	ピッ	・ バッテリーの状態を確認します。できる限り迅速にAC電源に接続します。
着脱式バッテリー外れ	情報	なし	・ 装置への着脱式バッテリーの接続状態を調べてください。着脱式バッテリーの充電レベルを調べ、必要があれば充電してください。

アラーム対応表(2)

アラーム発生時は、以下の表を参考に対処してください。

アラーム内容と画面表示	レベル	アラーム音	対 処
加温チューブの故障 	情報	なし	・ヒートドチューブに過熱または不具合が生じている可能性があります。装置は動作しますが、加温加湿器が停止します。 ・エアフローをOffにし、加温加湿器の取扱説明書に従ってヒートドチューブを加温加湿器に接続し直します。記号の点滅が続く場合は、弊社各営業所まで連絡してください。
加温加湿器の故障 	情報	なし	・加温加湿器の故障。装置は動作しますが、加温加湿器が停止します。エアフローをOffにし、加温加湿器の取扱説明書に従って加温加湿器を装置に接続し直します。 ・記号の点滅が続く場合は、弊社各営業所まで連絡してください。

アラーム発生時の対応

アラーム発生時の標準的な対処順序

- ① アラームが発生。
- ② 患者の安全を確認してください。
- ③ アラームの内容を確認してください。(アラーム音停止ボタンを1度押すとアラームが消音できます。)
- ④ 上記アラーム対応表を参照し、対処を行ってください。
- ⑤ アラームの原因が改善されたことを確認し、リセットボタンを押してアラームをリセットしてください。
- ⑥ 上記の対処をおこなっても現象が改善されない場合は、最寄りの弊社営業所や夜間・休日は機器安全センターまでご連絡ください。(連絡先は下記をご確認ください。)

平日 9:00～17:30の受付

地域営業所・出張所・駐在

夜間・土日休日の受付

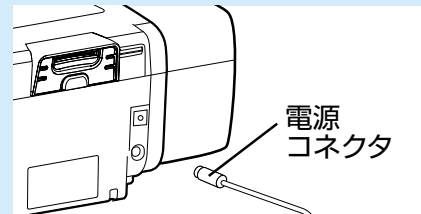
(平日17:30～翌9:00、土・日曜日と祝祭日)

機器安全センター

フリーダイヤル **0120-633-881**

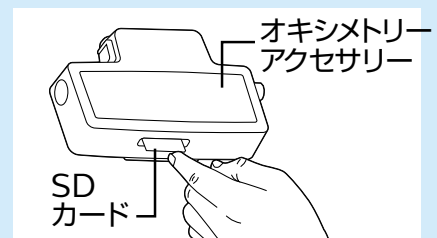
血中酸素飽和度測定 (SpO₂) 機器の接続

- 1 機器の作動を停止させ、
機器裏面の電源コネクタを抜きます。

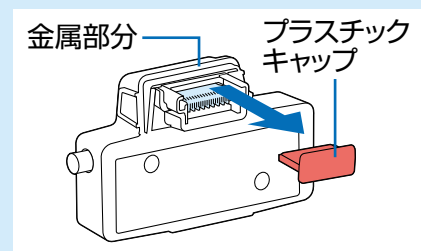


- 2 オキシメトリーアクセサリーを準備し、SDカードをオキシメトリーアクセサリーの底部に挿入します。

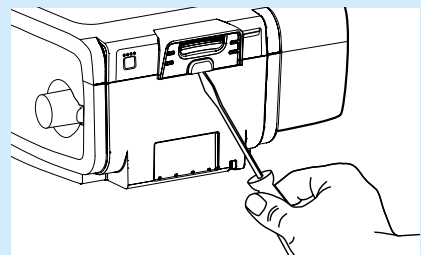
※ 新しい設定が保存されたSDカードは、オキシメトリーアクセサリーに挿入しても設定は変更されません。設定を反映させるためには、一度スタンバイ状態の機器本体に挿入してください。



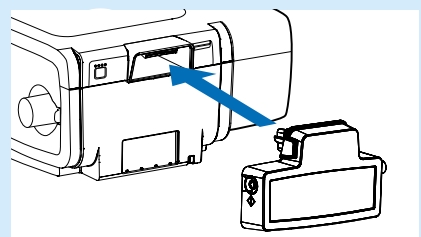
- 3 オキシメトリーアクセサリーにプラスチックキャップがついている場合は、取り外します（金属部分に触れないようにしてください）。



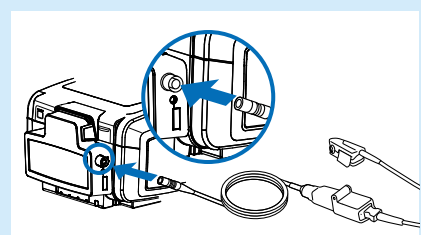
- 4 マイナスドライバーなどの工具を使用して、機器からアクセサリースロットカバーを注意して取り外します。取り外したアクセサリースロットカバーは大切に保管してください。



- 5 「カチッ」と音がして所定の位置にはまるまで、オキシメトリーアクセサリーを機器に挿入します。オキシメトリーアクセサリーを取り付けるために機器のSDカードを取り外す必要はありません。



- 6 オキシメトリーアクセサリーにケーブルとセンサーを接続します。



機器と携帯バッテリーの接続

機器と携帯バッテリーをDC接続コードで接続します。

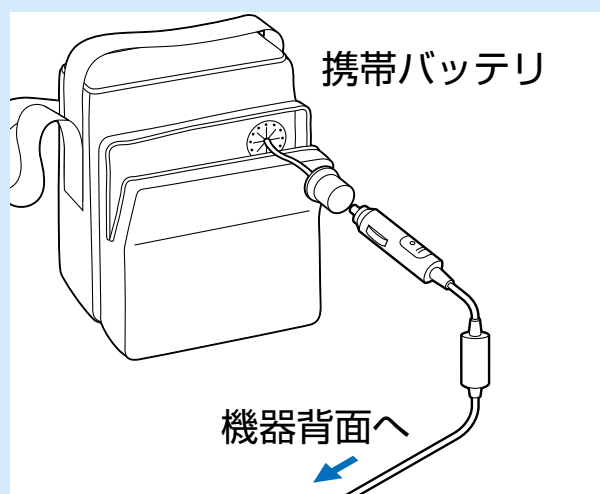
DC接続コード

※7Aのヒューズを合わせて
ご使用ください。

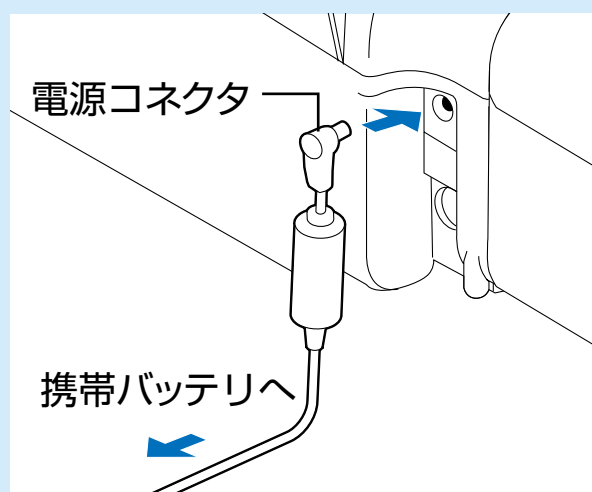
携帯バッテリーへ

機器背面へ

- 1 バッテリーの差込口にDC接続コードを接続します。

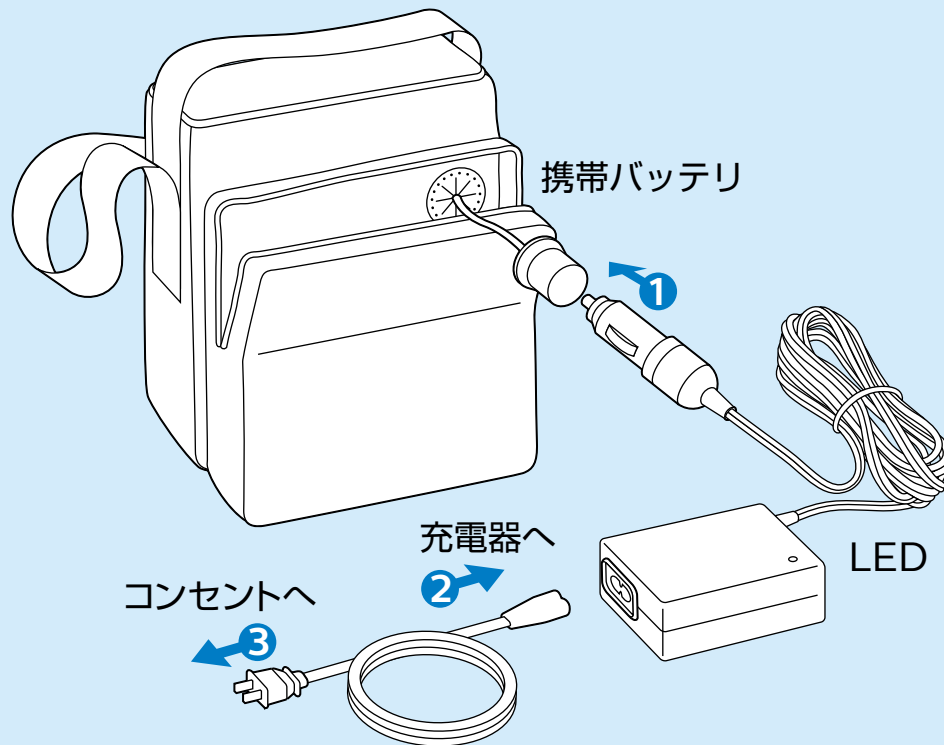


- 2 機器裏面の電源入力部にDC接続コードを接続します。



携帯バッテリーの充電

充電は専用の充電器を使用してください。
約5時間で充電完了になります。



※ 電源コード及び電源アダプタのコードは、過度の曲げや、ねじり、束ねなどによって断線し、発熱・発火におよぶ可能性があります。ご使用前には必ず破損がないことをご確認ください。

販売名：BiPAP A40システム シルバーシリーズ 医療機器承認番号：22600BZX00347000 高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

製造販売業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1

本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル

マーケティング部 03-3740-3245

www.philips.co.jp/respironics/



© 2015 Philips Respironics GK

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「マーケティング部」までお問合せください。記載されている製品名などの固有名詞は、Philips、Respironics、またはその他の会社の商標または登録商標です。
150220 R1-PDF